

# あなたの声を町政に

一般質問は、10人の議員が20項目にわたり諸問題を質しました。



澤田正己議員

## 「大山の水」の活用を

### 特産品の付加価値に

**問** 大山町の自主財源は、19年度一般会計予算97億1千万円のうち26・8%

である。10年後を考えると、高齢化が進み若者が少なくなり、自主財源の減少や交付税の減少が憂慮される。

梨園に引いてある開拓水道は、見学者にうまい水と好評である。それも

そのはず、甲川の上流大山の麓が水源だからである。

自主財源確保のために、このうまい大山の水を商品化し「大山恵みの水」として売り出す考えはないか。

**答** (山口町長)

自主財源の確保は大変

でこの自治体でも重要な課題である。

開拓水道は大山山系を水源としており、うまい水であることは間違いな

い。

しかし、この水道は315カ所の受益があり、生活用水や家畜の飲用水などに利用されているが、水源が自然湧水のため水

量に不確定要素があり、商品化し「大山恵みの水」として販売することは困難である。

全国的に高品質な水の需要が高まる中、大山山系の水も、江府町の第3セクターがすでに商品化している。さらに、伯耆町に大手飲料メーカーが進出したことから「大山の水」もブランドとして確立しつつあると考える。これら近隣の水ビジネスを追い風にしながら、町内の水資源を商品化できないか、また、様々な特産品の付加価値的要素として活用販売できないか検討したい。



需要高まる天然水